

# こんにちは 中根さちの ハーフシター



日本共産党 高知県議会 活動報告ニュース 県議会控室 823-9524 高知市丸の内1-2-20 2022.5.15  
自 宅 872-9224 高知市福井町1475-3 NO. 729



## 核被災は広島・長崎だけではない。 歴史の真実を学び、行動すべきは今!

核脅威削減へ、若者たちが問題意識を高め、新しい方法をつくりだす過程において、重要な役割を担うことができます。すべての核実験を禁止するこゝに、核実験禁止条約の早急な発効の重要性の強調を。

副連事務次長  
中根 泉さちよ  
よせられ: X(ツイッター)です。

**祝** 第93回メデー  
高知県中央集會に  
400人参加!!  
五月空の1日、県議団もついでメデーの行進にカワリまじり。  
"平和あってこそ仕事も商売も日常もある。憲法9条を守れ!!"の声もたからかに、口々に語られた中央集會でした。



## ビキニデー in 高知閉会

アメリカによる太平洋・ビキニ環礁での核実験(1954年)で日本の数多くのマグロ漁船員が被災した「ビキニ事件から68年」。「2022ビキニデー in 高知」(主催・実行委員会)は8日、「核被災を学び、核のない未来へ つながろう」を合言葉に全体集會を高知市内で開催して終わりました。

オープニングは、マグロ漁船員への聞き取り活動をした幡多高校生ゼミの卒業生や大学生らによる「世界は一つの島なのだーミクロネシア憲法前文」などの合唱と寸劇です。  
「核被災と私と未来」をテーマにしたパネルディスカッションでは、小学校教員と高知大学の学生がバネリストになって、ビキニ労災訴訟原告らへの聞き取り活動の成果などを報告しました。  
ある学生は、「歴史別の学生は、ロシアによるウクライナ侵略について「遠い国のことと人ごとにするのではなく、『戦争ではなく平和を』という声を集めつながら、この戦争を止める力になる」としました。東京地裁と高知地裁で行われている二つの

は教科書で学ぶ過去のものだと思っていたのが、実際に話を聞き、ビキニ事件はまだ終わっていない。自分とかわりをもつものだと分かり、学び続け、次の世代にも語り続けた」と発言。  
別の学生は、ロシアを次の世代に伝える青年の学びの可能性と未来に確信が持てましたと強調。第3回「ビキニデー in 高知」を来年5月5日から7日まで、マーシャルやセミパラチンスクなどの人たちの国際交流も含め計画したいとのべました。

**てくてく歩記 (226)**  
わたしの  
5月になったと思つたらもう中旬。参議院選挙目前です。5月8日には、本公本公予定候補の事務所が、日曜日の午後、昼過ぎに父にだっこされた2人の孫は本公本公大母、声をききながらおむつをいまして。戦争が国をつくらなかったことに!!

